

## 米の需給改善と米価下落の歯止め策を求める意見書

新型コロナウイルスの感染拡大による需要の「消失」で、米の過剰在庫が生じ、令和2年産米の市場価格は全国的に大暴落し、さらに緊急事態宣言などにより消費減少が止まらず、令和3年産米のさらなる下落が危惧されている。

このままでは、多くの米農業者が経営悪化を招くことになり、米づくりから撤退することにもなりかねない。コロナ禍による需要減少に伴う「過剰在庫」は、政府の緊急買入などで市場隔離すべきである。

同時にミニマムアクセス米が毎年77万トン輸入され、うち40万トンから60万トンが飼料用に販売され、国産飼料米需要を奪っている。

かつて経験したことのない危機的事態のなかで、米農業者の経営と地域経済を守るためには、従来の政策的枠組みにとらわれない対策が必要である。

よって下記の事項について要望する。

### 記

- 1 過剰米を国が緊急に買入し、過大な生産調整を回避すること。
- 2 ミニマムアクセス米の輸入量を大幅に削減すること。
- 3 過剰米を生活困窮者などへの食糧支援に活用すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和 3年 6月 日

衆議院議長 大 島 理 森 殿  
参議院議長 山 東 昭 子 殿  
内閣総理大臣 菅 義 偉 殿  
外務大臣 茂 木 敏 充 殿  
農林水産大臣 野 上 浩 太 郎 殿  
財務大臣 麻 生 太 郎 殿

長野県埴科郡

坂城町議会議長 小宮山定彦